

第7 健康支援課

1 母子保健対策

(1) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

慢性的な疾患にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族の相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整その他の事業を行うことを目的とする。

ア 相談支援事業

① 療育相談指導事業（相談、訪問等）

	件数		従事スタッフ（延件数に対して）		
	実件数	延件数	保健師	管理栄養士	理学療法士
相談	159	272	272	3	0
訪問	3	5	5	0	0

② 巡回相談指導事業

家庭において長期にわたり療養を必要とする児童に対し、関係各機関と連絡調整の上、出張又は巡回して相談指導を行い、必要に応じ訪問指導を実施する。

開催回数	保健師等による保健指導
4回	108

③ 理学療法士市町村支援

市町村において関わりのある児やその保護者に対して、理学療法士が事業等に介入し、児の状況を把握した上で専門的な相談指導を行う。また、市町村保健師等が児や保護者に対して適切に関わることにより、児の成長発達を促す。

支援市町村数	支援回数	相談件数
4	延 18 件回	63 件

④ 自立心の育成相談

日時	参加者数 (再掲:児数)	内容
H28年 3月17日 13:30~15:30	5名 (0名)	【交流会】 (1) 講話：「疾病を抱える子どもへの接し方について」 講師：山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授 中込さと子 氏 (2) 参加者同士の交流会 ~日常生活で他の保護者に聞いてみましょう 助言者：山梨大学 大学院医学工学総合研究部 教授 中込さと子 氏 小児慢性特定疾病児童等自立支援員 有田明美 氏

イ 遺伝等母子保健専門相談

複雑困難な問題を持つ児や保護者、遺伝等母子保健に関する個別の相談を保健所保健師が実施する（一次相談）。さらに、必要に応じて遺伝に関する専門医師の相談、カウンセリングを実施する（二次相談）。

一次相談 1件

二次相談 1件

(2) 母子保健推進業務

母子保健水準の向上を図り、管内地域における母子保健の基盤整備、関係機関の連絡調整及び地域組織等の育成等総合的な支援体制の整備等を推進するため、以下のとおり事業を実施した。

ア 母子保健推進会議

日 時	内 容
①H27年10月14日14:00～16:00 ②H28年2月24日13:30～15:30	【第1回】 ○平成27年度保健所母子保健推進会議について ○報告1 「平成26年度山梨県肥満及び学校歯科保健に関する実態調査」 報告者：富士・東部教育事務所 渡邊聡主幹 ○報告2 都留市養護教諭研究会の取り組みについて 報告者：都留市旭小学校 藤塚美和子先生 ○講義 「肥満及びやせ」対策を地域保健、学校保健、地区組織が連携して取り組む意義 講師：稚枝子おおつきクリニック 武者稚枝子 院長 ○各所属の取り組みの現状の共有及び意見交換 【第2回】 ○第1回保健所母子保健推進会議アンケートまとめ報告 報告者：健康支援課 早川弘晃 ○県民栄養調査に関する報告 報告者：健康支援課 河西瑞穂 ○グループワーク テーマ 「乳幼児期からの正しい生活習慣を獲得するには」 ・子どもと保護者双方への保健指導 ・関係者(機関)が集まり課題を共有し深める
場 所	
富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	
出席者	
①医師、養護教員研究会代表(北都留・南都留)、栄養教諭代表(北都留・南都留)、富士・東部教育事務所主幹、食生活改善推進員会長、愛育連合会長、市町村保健師、保健所長、技術次長、健康支援課長・課員(計25名) ②医師、養護教員研究会代表(北都留・南都留)、栄養教諭代表(北都留・南都留)、富士・東部教育事務所主幹、食生活改善推進員会長、愛育連合会長、市町村保健師、保健所長、技術次長、健康支援課長・課員(計23名)	

イ 市町村母子保健担当者会議

日 時	内 容
①H27年6月29日 14:00～16:00 ②H27年12月8日 9:30～12:30	【第1回】 ○保健所の母子保健事業の取り組みと課題 ○各市町村母子保健事業の取り組みと課題 ○第2次健やか親子21等について ・問診票、評価方法、山梨県子ども・子育て支援プランとの関連について ・各市町村母子保健計画について ○乳幼児健診について ・各市町村の取り組み予定について ・スキルアップ研修について ○産後ケア関連について 【第2回】 ○健やか親子21(第2次)の推進 ・乳幼児健診情報システムについての説明(健康増進課守屋補佐) ・健やか親子21(第2次)に伴う問診項目について ・意見交換 ○地域における切れ目ない妊娠・出産支援の強化について ・産前産後包括支援ネットワーク事業(山梨型ネウボラ事業)(健康増進課守屋補佐) ・産前産後ケア連携シート(ケアプラン)について
場 所	
富士吉田合同庁舎 1階 小会議室	
出席者	
①市町村母子保健担当者、 健康支援課長・課員 (計20名) ②市町村母子保健担当者、 健康支援課長・課員 健康増進課母子難病担当補佐 (計19名)	

ウ (母子保健担当者研修会)

※福祉課主催「発達障害者支援連絡会議」を母子保健担当者研修会として位置づけた。

日時	参加者数	内容
H28年1月29日 13:30～16:00	39名	富士・東部圏域発達障害者支援検討会議 ○「学校現場の現状と関係機関との連携」 ～特別教育の視点から～ 講師：新しい学校づくり推進室 特別支援教育担当 岡 輝彦 副主幹・指導主事 都留市立東桂小学校 特別支援教育コーディネーター 梶原 由美 教諭 ○グループワーク

(3) 小児医療対策

保健所における小児医療給付には、小児慢性特定疾患治療研究事業があり、申請時に保護者と面接を行い、療育上の相談と医療費の公費負担を行っている。

平成27年1月に児童福祉法の一部が改正され、対象疾患数が514疾患から704疾患と疾患数が拡大となった。

■小児慢性特定疾患治療研究事業受給者数（平成28年3月現在）

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
悪性新生物	8 (2)	2		3 (1)				1	1	3			18 (3)
慢性腎疾患	3	2 (1)		2			1		1 (1)	1 (1)			10 (3)
慢性呼吸器疾患	3 (1)			1 (1)			1			1			6 (2)
慢性心疾患	9 (2)	1 (1)	1	1 (1)						3 (1)		1	16 (5)
内分泌疾患	17 (1)	5	2 (1)	3		1	3	4		4			39 (2)
膠原病	1 (1)						3 (1)						4 (2)
糖尿病	2						1	1		1			5
先天性代謝異常													0
血液疾患		1											1
免疫疾患				1					1				2
神経・筋疾患	4 (1)	4	1	4						1			14 (1)
慢性消化器疾患	6 (2)		2							1			9 (2)
染色体又は遺伝子変化に伴う症候群													0
皮膚疾患	1												1
計	54 (10)	15 (2)	6 (1)	15 (3)	0	1	9 (1)	6	3 (1)	15 (2)	0	1	125 (20)

下段（ ）内数は、平成27年度新規受給児数

(4) 先天性代謝異常等検査

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常は、放置すると知的障害等の症状をきたすおそれがあるので、新生児に対して血液によるマス・スクリーニング検査を実施している。

平成26年1月20日より新たな検査法タンデムマス法が開始となっている。

平成27年度要精密検査対象児は4人であり、医療機関（医師等）との連絡及び保護者との面接等を行った。

(5) 新生児聴覚検査事業

聴覚は乳幼児の音声発語の獲得、発達に欠かせないものであり、児の健やかな成長、将来の社会参加のために大切であるため、早期に難聴を発見し、脳が柔軟な乳児期に適切な療育を行う必要があることから新生時期にスクリーニング検査を実施している。

平成27年度要精密検査対象児は1人であった。

(6) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療のうち、保険外診療である特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に対して、治療費が高額で経済的負担が大きいため、その軽減を図ることを目的に費用の一部を平成16年度から助成している。

特定不妊治療の種類により、助成限度額が7万5千円または15万円となっている。

平成27年8月1日より、男性不妊治療に対しての上乗せ助成も開始され、8月1日以降終了の治療に対しては上限7万5千円、平成28年1月20日以降終了の治療に対しては15万円を上限に、上乗せで助成されることとなった。

また、初回治療の負担額が大きいことから、1月20日治療終了の特定不妊治療に対して、初回申請時のみ、上限30万円まで引き上げられた。

■不妊に悩む方への特定治療支援事業助成件数

	実件数	延件数
富士吉田市	26	51
都留市	20	38
大月市	7	13
上野原市	12	17
道志村	1	1
西桂町	1	1
忍野村	6	10
山中湖村	8	14
鳴沢村	1	2
富士河口湖町	22	38
小菅村	0	0
丹波山村	0	0
計	104	185

(7) 母子保健地域組織の育成

母と子の健康を中心に、地域住民が自らの健康は自ら守ることができるよう、地域組織の育成及び支援を行った。

ア 母子保健地域組織一覧(H27年6月30日時点※愛育班組織調査より)

組織育成	結成年月	形態	会員数	班数	分班数	班員数	連合加入
都留市愛育会	H25.9	単独	80	1	5	80	○
大月市愛育会	S34.1	保健活動推進会	10,605	1	9	115	○
上野原市愛育連合会	S33.12	単独	148	3	4	13	○
忍野村愛育会	S35.4	婦人会即	2,164	1	7	52	○
山中湖村婦人会愛育部	S33.3	婦人会即	2,324	1	1	23	○
鳴沢村母子愛育会	S34.4	婦人会即	450	1	2	56	
小菅村愛育会	S47.4	婦人会即	341	1	8	23	○

イ 愛育組織育成状況 (委員会、役員会開催回数、出席者数)

	回数	参加者	従事者内訳数				
			総数	所長	次長	課長	保健師等
保健所	19	303	33	2	1	14	16
都留市	1		2	1			1
大月市	1		2	1			1
上野原市	1		2	1			1
忍野村	1		2	1			1
山中湖村	1		2	1			1
鳴沢村	0		0				
小菅村	1		1				1

ウ 各種研修

年月日	場所	内容	参加(人)
H27年4月22日	富士吉田 合同庁舎	定期総会記念講演 講演「高齢化が進む中で 愛育班員として出来ること」 講師 富士厚生グループ会長・ 富士康生クリニック名誉院長 小俣二也氏	75
H27年5月20日		役員研修(ミニ講義) 「若年性アルツハイマー病」	6
H27年6月15日		役員研修(ミニ講義) : 「食中毒予防」	6
H27年7月1日		役員研修(ミニ講義) : 「手洗い方法」	
H27年7月27日	恩賜財団 母子愛育会 愛育推進部	理事研修① 研修「愛育班員へ期待すること」 講師 恩賜財団母子愛育会 愛育推進部長 大場エミ氏	23
H27年8月20日	富士吉田 合同庁舎	役員研修(ミニ講義) 講義: 「慢性腎臓病(CKD)」	6
H27年9月11日		役員研修(ミニ講義): 「低出生体重児」	6
H27年11月24日	小菅村役場	活動発表会 「各地区愛育班の実践活動発表会」	91
H27年12月11日	富士吉田 合同庁舎	班員研修② 講義: 「愛育活動を知り、 愛育班員が元気に活かすこと」 講師 富士・東部保健福祉事務所 技術次長 伊丹幸子氏	56
H28年1月13日		役員研修(ミニ講義): 「子どもの事故」	6
H28年2月17日		役員研修(ミニ講義): 「女性の健康週間」	6
H28年3月8日		理事研修② 講義: 「愛育のこころを伝えるための引継ぎ」 講師 富士・東部保健福祉事務所 健康支援課長 飯島俊美氏	16

2 地域看護推進対策

(1) 保健師就業状況

ア 市町村保健師設置状況

	人口	保健師数	雇用形態		所属			
			正規	嘱託等	保健	福祉	介護	他
富士吉田市	48,981	18	16	2	8	2	6	2
都留市	32,002	12	9	3	10	1	2	0
大月市	25,345	10	9	1	9	0	1	0
上野原市	24,712	10	10	0	6	2	2	0
道志村	1,734	2	2	0	2	0	0	0
西桂町	4,336	3	3	0	2	0	1	0
忍野村	8,993	5	5	0	4	0	1	0
山中瑚村	5,207	4	4	0	2	2	0	0
鳴沢村	2,928	3	3	0	2	0	0	0
富士河口湖町	25,363	11	10	1	7	1	3	0
小菅村	727	2	2	0	2	0	0	0
丹波山村	555	2	2	0	2	0	0	0
計	180,883	82	75	7	56	8	16	2

*人口及び保健師数は平成27年12月現在

イ その他保健師設置状況

単位：人

所属名	保健師数
ファナック健康管理センター	2
山梨日本電気株式会社	1
都留児童相談所	1
富士・東部保健福祉事務所	8

(2) 現任教育

保健所が、管内市町村保健師及び保健所保健師の保健師の人材育成を推進する拠点となっており、地域特徴や専門的な実践能力の課題を踏まえた研修を階層別（初任期・新任期・中堅期・リーダー期・管理期）に企画・実施・評価する。併せて、職場内研修（OJT）を効果的に推進するための体制づくりを行った。

ア 全期保健師研修会（保健師業務研究会）

保健師活動を推進する上で、保健師の専門性を深めるために、実践的な技術の向上を図ることを目的に実施した。

日時	内容	参加者数
H27年5月11日 13:30～16:30	○各所属保健師活動体制について ○各市町村の保健事業の推進について グループワーク 業務別（母子・成人・地域包括）検討	35名
H28年3月14日 13:30～16:30	○保健師現任教育を考える 講義「保健師の育成と成長」 ～行政保健師に期待すること～ 講師 国立保健医療科学院 森永裕美子 先生 グループワーク 各期別（新任期、中堅期、リーダー期、管理期） 各期の課題を検討	32名

イ 中堅期・リーダー期保健師研修会

日時	内容	参加者数
H27年12月11日 9:30～12:00	○地域診断から明らかになった課題から効果的な保健事業の検討（企画、立案のプロセル） 講義「効果的な保健事業の展開」 講師 山梨県立大学 望月宗一郎 先生 全体討議 テーマ「リーダー期として役割を考える」	15名

ウ 管理期保健師（代表保健師会議）

日時	内容	参加者数
H27年4月20日 13:30～14:30	○各市町村保健師活動の状況 ○富士東部保健所管内の保健師現任教育の展開 ○管理期保健師が担う役割	10名

(3) 地域看護推進業務

ア 管内病院看護部長会議

管内8病院の看護部長間の連携のもとに、情報交換及び研修を行い、管内看護師確保対策の推進、看護職員の資質向上、継続看護の推進を図ることを目的に会議を開催した。

日時	内容	参加者数
H27年6月23日 14:00～16:00	1) 各病院の看護師確保・定着対策・現任教育への取り組みと課題 2) 富士・東部地域の病院看護部長のネットワーク・連携体制 4) 退院支援マネジメントの推進 3) 平成27年度「1日看護師事業」実施状況	10人
H27年9月10日 14:00～16:00	1) 在宅医療の推進 2) 看護師確保対策及び就業相談	10人
H28年2月5日 14:00～16:00	1) 各病院の離職防止・職場環境改善・施設間ネットワーク 2) 継続看護の推進 3) 看護師確保対策普及啓発事業	9人

(4) 在宅医療推進事業

在宅療養を希望する者が、希望する在宅ケアを受けられるよう医療・福祉・介護従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームにより患者・家族をサポートしていく体制の構築に向け、在宅医療と福祉・介護の連携推進を図るために「連絡会議」「人材育成」「一般住民向けの普及啓発」等により在宅医療の推進を図る。

ア 在宅医療多職種連絡会議

医療・福祉・介護従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームにより患者・家族をサポートしていく体制づくり、在宅医療と福祉・介護の連携推進を図るための協議を行った。

日時	内容	出席者数
H27年9月30日 13:30～15:30	1) 富士東部地域の在宅医療（ケア）の推進について (1) 今後の取り組むべき方向性について (2) 各所属の在宅医療（ケア）の取り組みと課題 (3) 意見交換 2) 今後の在宅医療（ケア）推進事業について (1) 社会資源実態調査（データ更新） (2) 在宅医療多職種人材育成研修 (3) 一般住民向け普及啓発「講演会」	34名
H28年3月16日 15:00～17:00	1) 富士東部地域の在宅医療の体制整備について (1) グループワーク（在宅医療の課題） 下記のテーマで検討 必要な医療ケアを受けられる 必要な看護ケアを受けられる 必要な介護ケアが受けられる 病院内における退院支援チームをつくる 地域における在宅支援チームをつくる 在宅でその人らしく過ごせるための普及啓発 (2) 全体討議（課題の共有） 2) 平成27年度在宅医療多職種連携推進事業報告 (1) 在宅医療多職種人材育成研修会 (2) 在宅医療講演会 (3) 社会資源実態調査	35名

■在宅医療・介護の資源把握調査の実施

医療機関（病院、診療所、薬局、訪問看護 ST）及び介護事業所等の資源情報（対応エリアサービス等）の把握し、市町村に対して情報提供を行った。

イ 在宅医療多職種人材育成事業

在宅医療を実践する際、お互いの専門的な知識を活かしながらチームにより患者・家族をサポートしていく体制の整備に向け、多職種協同による在宅医療チームの担い手となる人材を育成するための研修会を行った。

日時	内容	出席者数
H28年1月20日 18:00~20:00	<p>「具体的な多職種連携が推進できるよう、在宅医療を担う多職種の役割やできることをもっともっと知ろう！」 — PartⅡ 歯科医師、栄養士 — テーマ 「最期まで口から食べられるための 口腔ケア・食支援」</p> <p>■講義 歯科医師の立場から 「口腔の健康と全身の関わり」 講師 渡辺歯科医院 渡辺秀昭 先生</p> <p>■講義 管理栄養士の立場から 「高齢者の低栄養予防」 講師 山梨県栄養士会 深沢 幸子 氏</p> <p>■グループワーク 「その人らしく生きられるためにできること……」</p> <p>■質疑応答・まとめ</p>	60名
H28年3月24日 18:00~20:00	<p>「具体的な多職種連携が推進できるよう、在宅医療を担う多職種の役割やできることをもっともっと知ろう！」 ~PartⅢ緩和ケア医師、緩和ケア認定看護師~ テーマ 「痛みや倦怠感などの苦痛症状を緩和するために」</p> <p>■講義 「痛みや倦怠感などの苦痛症状を緩和するために…」 講師 富士吉田市立病院 本田勇二 先生</p> <p>■講義 「緩和ケアとは」 講師 富士吉田市立病院 緩和ケア認定看護師</p> <p>■グループワーク 「その人らしく生きられるためにできること……」 助言者 富士吉田市立病院 本田勇二 先生 富士吉田市立病院 緩和ケア認定看護師</p> <p>■質疑応答、まとめ</p>	90名

ウ 在宅医療普及啓発事業

要介護状態になっても、自分の住み慣れた家や地域で過ごす事ができるという在宅医療やそれに従事する職種の機能や役割を広く地域住民に紹介するための講演会等を開催する。

日時	内容	参加者数
H27年12月6日 14:00~16:00	<p>講演 「最後のときまで穏やかに過ごすこと」 講師 藤野在宅緩和ケアクリニック 院長 石橋了知 先生</p>	140名

(5) 看護普及啓発

ア 一日看護師事業

管内の高校生を対象に、看護師業務の体験を通して看護に対する正しい知識と理解を深めてもらうことにより、看護職員を志す契機とすることを目的として実施した。

月日	病院名	高校名	人数
H27年6月8日	大月市立中央病院	都留高校	12名
6月9日	回生堂病院	都留興譲館高校	5名
		桂高校	15名
6月10日	回生堂病院	都留興譲館高校	20名
	ツル虎ノ門外科リハ病院	都留興譲館高校	6名
	上野原市立病院	日大明誠高校	9名
	三生会病院	上野原高校	6名
6月11日	都留市立病院	日大明誠高校	9名
	上野原市立病院	都留興譲館高校	15名
6月12日	山梨赤十字病院	上野原高校	10名
		富士河口湖高校	11名
	上野原市立病院	富士北陵高校	9名
		上野原高校	4名
6月15日	大月市立中央病院	日大明誠高校	6名
6月17日	富士吉田市立病院	都留興譲館高校	12名
		吉田高校	13名
		富士河口湖高校	21名
		富士北陵高校	10名
	山梨赤十字病院	富士学苑高校	6名
計	8病院	吉田高校	20名
		9高校	220名

イ. 看護の心普及キャンペーン

「フェスタ看護」事業の一環として「看護の日」の啓発を図るとともに、看護についての正しい理解と関心を深めることを目的として実施した。

実施年月日	①H27年5月12日(火) ②H26年5月15日(金)
実施場所	① 富士山駅 ② 赤坂駅周辺、都留文科大学前駅および谷村町駅周辺 日本大学明誠高等学校正門前、上野原高等学校正門前
実施内容	・看護への関心を高めてもらえるような声かけをしながら、PRグッズ(絆創膏)を配布 ・各場所に「看護の日」のプラカードやのぼりを立て、参加者は各施設のユニフォーム(白衣など)を着用し、たすきを掛けてキャンペーンを実施
参加者	管内病院、訪問看護ステーション、市町村、富士・東部保健福祉事務所の看護職員

(6) 看護師等再就業相談事業

看護師等の人材確保に関する法律第11条に基づき、看護師等就業協力員として、保健所で「看護師等再就業相談窓口」を開設し、潜在看護力の活用を図る中で看護師等の確保を推進している。

	再就業相談	ナースセンター等の紹介	悩みごと相談
実人員	5人	2人	0人
回数	5回	0回	0回

(2) 特定医療費(指定難病)受給者数

管内疾病別受給者数(単位:件)

平成28年3月31日現在届出(受給者がいる疾病のみ)

疾患番号	指定難病	合計	新規・転入 (再掲)
1	球脊髄性筋萎縮症	5	3
2	筋萎縮性側索硬化症	10	3
5	進行性核上性麻痺	6	1
6	パーキンソン病	89	16
7	大脳皮質基底核変性症	2	
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	1
11	重症筋無力症	26	
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	33	4
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	1
17	多系統萎縮症	6	
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	38	4
19	ライソゾーム病	1	
22	もやもや病	15	
28	全身性アミロイドーシス	3	1
34	神経線維腫症	4	
35	天疱瘡	9	
37	膿疱性乾癬	1	1
38	スティーブンス・ジョンソン症候群	1	1
40	高安動脈炎	5	
42	結節性多発動脈炎	4	
43	顕微鏡的多発血管炎	9	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	7	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	1
46	悪性関節リウマチ	2	
47	バージャー病	8	1
49	全身性エリテマトーデス	72	3
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	28	2
51	全身性強皮症	17	
52	混合性結合組織病	11	2
53	シェーグレン症候群	4	3
54	成人ステル病	3	3
55	再発性多発軟骨炎	1	1
56	ペーチェット病	18	1
57	特発性拡張型心筋症	31	5
58	肥大型心筋症	2	
60	再生不良性貧血	15	4
61	自己免疫性溶血性貧血	1	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	
63	特発性血小板減少性紫斑病	24	1
65	原発性免疫不全症候群	4	
66	IgA腎症	4	2
67	多発性嚢胞腎	6	3
68	黄色靭帯骨化症	4	3
69	後縦靭帯骨化症	29	5
70	広範脊柱管狭窄症	13	1
71	特発性大腿骨頭壊死症	14	3
72	下垂体性ADH分泌異常症	1	
74	下垂体性PRL分泌亢進症	4	
75	下垂体性ACTH分泌亢進症	1	
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6	2
78	下垂体前葉機能低下症	8	2
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1	
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1	1
84	サルコイドーシス	10	
85	特発性間質性肺炎	18	7
86	肺動脈性肺高血圧症	5	
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	1
90	網膜色素変性症	27	4
91	バッド・キアリ症候群	1	1
93	原発性胆汁性肝硬変	20	1
95	自己免疫性肝炎	2	
96	クローン病	24	2
97	潰瘍性大腸炎	101	16
107	全身型若年性特発性関節炎	1	1
113	筋ジストロフィー	3	3
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	1
222	一次性ネフローゼ症候群	2	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	
271	強直性脊椎炎	1	1
306	好酸球性副鼻腔炎	9	9
計		839	139

4 健康づくり関係

健康づくり推進事業（健やか山梨21推進）

住民一人ひとりが、自らの生活習慣を見直し、健康づくりの実践ができるよう、生活習慣病予防に重点をおいた特定健診及び特定保健指導の実施、「運動」「食生活」「禁煙」等の指導（ポピュレーションアプローチ）、健康を意識した生活改善の普及啓発を積極的に推進し、「健やか山梨21」の数値目標の達成に向けた取り組みを展開している。

(1) 地域・職域保健連携推進事業

住民の生涯を通じた継続的な健康管理を確保するために、地域保健・職域保健及び関係団体が連携し、効果的かつ効率的な保健事業を展開、推進するための協議を行った。

日 時	内 容	出席者数
H27年7月21日 14:00～16:00	1) 富士・東部地域・職域保健連携推進協議会の取り組み状況及び圏域の健康課題等について 2) 特定健康診査及び特定保健指導について 3) 生活習慣病対策及たばこ対策について	23名
H28年3月2日 15:00～17:00	1) 今年度重点取り組み項目の進捗状況について 2) 平成25年度特定健診受診率、特定保健指導実施率について 3) 来年度の重点取り組み項目について	22名

(2) 禁煙・分煙推進事業

平成16年2月より県内の公共機関、事業所等に置いて受動喫煙対策を実施している施設を「禁煙・分煙認定施設」として認定している。さらに平成23年4月から時間帯禁煙や特定日禁煙を行っている飲食店を対象に、「禁煙推進店」を募集し、山梨県のホームページなどで公表している。また、各機関に対して禁煙・分煙対策の推進を呼びかけている。

① 認定事業数

敷地内禁煙	屋内禁煙 (建物全体)	屋内禁煙 (テナント等の一部)	完全分煙	禁煙推進店
97	146	42	1	5

② 禁煙普及啓発活動

住民に対して、喫煙の及ぼす健康被害や禁煙支援等について啓発を行っている。

- a. 富士河口湖町と共催で、中学校に対して防煙研修を実施
- b. 学校や企業等を対象に、たばこの害や防煙教育等に関する出前講座を実施
- c. 県民の日富士吉田会場などイベントにて、ポスター掲示とリーフレット配布
- d. ホームページや市町村広報での啓発を実施

③ 健やかカレッジ宣言事業

県内の大学等と連携し、大学が防煙教育の環境整備をはじめとした健康づくり活動を実施し、たばこ対策に関する実態把握、啓発活動等を通じて、学生が将来にわたる健康づくりへの心を高めていくことを目的として実施した。

実施大学名 都留文科大学
 実施内容 ・ タバコ対策に関する実態調査の実施
 ・ 啓発イベント
 (学園祭で保健センターと共催で禁煙予防ブースを設置した)
 ・ 講演会の実施

(3) 出前講座の実施

事業所、施設、学校等へ保健所職員が、各種健康講座を実施した。

実施回数 64 回
 延べ参加者数 3,858 人

(4) 生活習慣病予防講習会の実施

50人以下の小規模事業所の事業主及び衛生推進者等を対象に、職員の生活習慣病予防の重要性について理解を深めることにより、職員の健康の保持増進につながることを目的に講習会を実施した。

月日	場所	内 容
H27年 9月25日	大月市民会館	郡内労働衛生推進大会の中で「生活習慣病予防講習会」を実施 講演 1 「事業場労働者の健康づくり、生活習慣病対策の重要性」 講師 富士・東部保健所 櫻井希彦 講演 2 「健康診断結果の活用 ～大人の通信簿～」 講師 東京エレクトロン山梨株式会社 保健管理センター 三井成司 氏
H27年 12月17日	ハイランド リゾートホテル	富士急行株式会社職員研修の中で「生活習慣病予防講習会」を実施 講演 「自分らしく健康で過ごすために」 講師 富士東部保健所 健康支援課長 飯島俊美

(5) 栄養改善対策

食生活のあり方と密接な関連のある生活習慣病予防対策として、望ましい食習慣の定着や、エネルギー等の過剰摂取やカルシウム等の不足など栄養素の偏りの改善、減塩運動の推進等、正しい食生活と健康づくり運動に努めた。特に地域の食生活改善のリーダーである栄養士、食生活改善推進員および調理師組織の育成や資質の向上のための研修会等を開催した。

また、健康増進法に基づく特定給食施設等の把握および栄養管理指導を実施した。

① 栄養指導・研修会の実施状況

地域住民に対して電話・来所での栄養指導を実施した。また、生活習慣病や難病等の疾病を有する者やその家族に対し、市町村や医療機関との連携をとりながら個人に合った専門的な栄養・食生活指導を行った。

② 病態別栄養相談事業（個別相談・集団研修会）

<個 別>

	実人員	延人員
生活習慣病関係	1	2
難病関係	3	3
その他	0	0
計	4	5

<集 団>（再掲）

期 日	場 所	内 容	出席者
H28年 1月20日	富士吉田 合同庁舎	最期まで口から食べ続けることを支援するための研修会	55

③栄養士研修会

期 日	場 所	内 容	出席者
H27年 8月12日	昭和大学 富士吉田校舎	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の予防 ・日本人の食事摂取基準(2015年版) ・平成26年度県民栄養調査について ・事例発表(災害時の給食マニュアルと平常時の取り組みについて) ・災害時に役立つ給食施設の取り組み 	59
H28年 1月20日	富士吉田 合同庁舎	最期まで口から食べ続けることを支援するための研修会	20

④行政栄養士業務検討会

期 日	場 所	内 容	出席者
H27年 6月12日	富士吉田 合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり施策における栄養業務について ・特定健診・特定保健指導について ・情報共有 	12
H27年 10月28日	富士吉田 合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・組織育成と市町村の栄養改善事業 ・組織育成に関する意見交換 ・情報提供 	8
H28年 1月6日	富士吉田 合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の保健事業実施状況と課題について ・食育推進計画について ・PDCAサイクルに基づく事業企画・評価について ・栄養管理研修会について 	9
H28年 3月2日	富士吉田 合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・富士吉田市塩分チェック事業について ・富士・東部管内における子どもの食行動と肥満との関連について ・市町村各種計画に基づく現在の取り組みと課題について 	9

⑤食生活改善推進員研修会

期 日	場 所	内 容	出席者
H27年 4月10日	富士吉田 合同庁舎	ロコモ予防のための運動	23
H27年 4月23日	さくやホール	いきいきと健やかに暮らせる地域づくりのために	190
H27年 6月26日	富士吉田市民 会館	自分を見つめ 地域を見つめ 見えてくるもの	144
H27年 7月22日	富士吉田 合同庁舎	・研修会のまとめ ・平成26年度活動紹介	24
H27年 11月27日	富士吉田 合同庁舎	・食改全国大会の報告 ・平成26年度活動紹介	26
H28年 2月9日	富士吉田 合同庁舎	・女性の健康週間について	25

<参考>

運営委員会・・・4回/年

執行部会・・・4回/年

⑥ 調理師研修会

期 日	場 所	内 容	出席者
H27年 9月30日	合同庁舎	・食品衛生について ・健康長寿のために食の現場からできること 実習：クリスタルポークを使って	15

⑦ 特定給食施設等の指導・支援

特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する給食施設に対して、栄養管理の実施に関し必要な指導及び助言を行った。

		特定給食施設		その他の給食施設	計
		1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上	1回20食以上又は1日50食以上	
巡回指導		46	2	8	56
研 修 会	回数	1			199
	延施設数	199			

<特定給食施設等の管理栄養士・栄養士配置状況>

	管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない 施設数	
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		
指定施設	事業所					1	1		
	寄宿舎			1	1	1			
	自衛隊								
	一般給食センター								
	その他								
	計	0	0	2	2	2	0	0	0
1回300食以上又は1日750食以上 (指定施設①を除く)②	学校	4	4	2	2	4	8	12	
	病院			1	2	2			
	介護老人保健施設								
	老人福祉施設								
	児童福祉施設								
	社会福祉施設								
	事業所						1	1	
	寄宿舎								
	自衛隊	1	1						
	一般給食センター								
	その他								
計	5	5	3	5	5	9	13	0	
1回100食以上又は1日250食以上 (①②を除く)	学校	3	3				6	6	2
	病院			4	6	18			
	介護老人保健施設	1	1	5	6	11			
	老人福祉施設	1	1	1	2	1	3	10	1
	児童福祉施設			1	1	1	13	13	5
	社会福祉施設			1	1	2			
	事業所	3	3	1	1	1	2	2	3
	寄宿舎								
	自衛隊	1	1						
	一般給食センター								
	その他								
計	8	8	13	17	34	24	31	11	
その他の給食施設	学校						3	3	3
	病院			2	2	8			
	介護老人保健施設								
	老人福祉施設	1	2	4	4	7	5	6	
	児童福祉施設						7	8	17
	社会福祉施設			1	1	1	2	4	1
	事業所						2	2	6
	寄宿舎								
	自衛隊								
	一般給食センター								
	その他								
計	1	2	7	7	16	19	23	28	

⑧ 栄養調査

- (ア) 国民健康栄養調査
- (イ) 県民栄養調査

H27年度は共に該当せず、実施なし

⑨ 組織の運営支援

地域住民の食生活改善や健康づくりのため、地域組織の育成を行なった。

組織名	会員数 (人)	開催回数 (回)
食生活改善推進員	846	8
調理師会	201	2

⑩ 健康づくりのための運動指導

運動不足が原因となる肥満、高血圧、高脂血症等の生活習慣病の予防等を目的に生活の中に運動を取り入れて、健康を維持増進するための、食生活改善推進員養成講習会等の場で、栄養指導を含めた運動指導等を行った。

⑪ 市町村に対する支援

- (ア) 食生活改善推進員の養成

健康生活についての正しい知識と技術を学習し、自らその実践者となり、地域住民の食生活改善や健康づくりの担い手として活動するボランティアの養成事業に協力した。

(イ) 市町村支援

市町村における地域栄養改善活動が円滑かつ適切に実施できるよう、技術的支援や連絡調整を行った。

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
食生活改善推進員組織の育成	6	10	10	4	13	11	8	11	7	4	8	17	109
栄養指導	0	2	0	3	2	3	2	3	1	1	2	0	19
運動指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務検討	4	4	4	3	-	-	4	5	4	1	-	-	29
その他	20	24	17	23	8	7	14	24	13	11	5	3	169
計	30	40	31	33	23	21	28	43	25	17	15	20	326

⑫ 市町村栄養士配置促進

住民へ健康やQOL向上のためサービスを提供する必要から、未配置市町村へ地域の健康・栄養情報（食育や保健指導等）の活動拠点となるよう「管理栄養士・栄養士」の配置の促進を行なった。

<市町村栄養士配置状況>

	富士吉田	都留	大月	上野原	道志	西桂	忍野	山中湖	鳴沢	富士河口湖	小菅	丹波山	計
栄養士数	4	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	11

(6) 歯科保健事業

歯と口の健康週間にあたり、歯と口腔の衛生に関する正しい知識の普及啓発と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着、早期発見、早期治療等の徹底により健康の保持増進に寄与することを目的とし、「歯の無料相談所」を開設した。

参加団体：歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会、栄養士会

期 日	会 場	内 容	相談件数
H27年 6月9日	Q-STA	歯科検診、歯科相談、歯磨き指導、フッ素塗布、栄養指導、 キャンペーン品・パンフレット配布	90

5 石綿（アスベスト）健康被害救済制度

労災保険法等で補償されない、中皮腫や石綿（アスベスト）による肺がんを発症している方及びこの法律の施行前にこれらの疾病により死亡された方の遺族に対して、「医療費等の救済給付」が支給される。

(1) 特別遺族弔慰金・特別葬祭料請求件数（特別遺族弔慰金等に係る制度の周知事業）

請求件数	相談件数
0	0

(2) 石綿健康被害救済制度の受理件数

申請件数	相談件数
1	2

6 学生等実習指導

地域保健活動の実際を理解することを目的に学生等を受け入れた。

(1) 看護学生実習 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

大学名	実習期間	学生数
山梨大学医学部 看護学科	【4年次】	① 6名
	① 平成 27 年 5 月 26 日～28 日	② 7名
	② 平成 27 年 6 月 16 日～18 日	(計 13名)
	【3年次】	③ 6名
	③ 平成 27 年 10 月 13 日～15 日	
合計	3回	19名

(2) 栄養学生臨地実習 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

大学名	実習期間	学生数
山梨学院大学 健康栄養学部	平成 27 年 10 月 19 日～23 日	2
東京家政大学	平成 27 年 10 月 19 日～23 日	1
合計		3